



## 2019年12月

---

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [新機能 : 2019年12月 \(2 ページ\)](#)
- [機能強化 : 2019年12月 \(3 ページ\)](#)
- [不具合 \(4 ページ\)](#)

### Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存の Wi-Fi インフラストラクチャを活用して実用的な情報を提供し、ビジネスの成果を促進するロケーションプラットフォームです。物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Cisco Spaces のシングルサインオン (SSO)。
- OpenRoaming アプリの場合、Cisco Spaces ダッシュボードから Cisco Spaces コネクタのホットスポットを追加できるようになりました。
- Cisco Spaces ダッシュボードで OpenRoaming アプリに必要なワイヤレスコントローラ設定を表示できるようにプロビジョニングしました。
- Cisco Spaces パートナーダッシュボードで、アプリごとに発生したアクティベーションの総数を表示できるようにプロビジョニングしました。
- パートナーにリアルタイムのアプリ アクティベーション エクスペリエンスを提供するために、Cisco Spaces パートナーダッシュボードの App Activation ウィザードが Cisco Spaces と同じになるように更新されました。
- Cisco Meraki のカメラを Cisco Spaces と同期するようにネットワーク同期サーバーを強化しました。

- Cisco Spaces パートナー管理ダッシュボードを介してパートナーアプリのステータスを追加し、それによって Cisco Spaces に表示されるパートナーアプリを制御します。

## 新機能：2019年12月

### Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

#### SSO サポートのためのログインウィンドウの変更

Cisco Spaces はシングルサインオン (SSO) をサポートするようになり、ユーザーは SSO ログイン情報を使用して Cisco Spaces にログインできるようになりました。たとえば、シスコのドメインで SSO が有効になっている場合、Cisco Spaces アカウントを持つシスコの従業員は、シスコの電子メールアドレスとパスワードを使用して Cisco Spaces にアクセスできます。シスコの従業員が特定の Web サイトまたはアプリケーションからシスコドメインにすでにログインしている場合、そのシスコの従業員は、シスコの電子メールアドレスを指定するだけで Cisco Spaces にアクセスできます。

Cisco Spaces の SSO ログインをサポートするために、Cisco Spaces のログイン画面が刷新されました。これで、[Login] ボタンをクリックすると、電子メール ID フィールドのみが [Log In] ウィンドウに [Continue] ボタンとともに表示されます。ユーザーがすでに SSO が有効なドメインにログインしている場合、[Continue] ボタンをクリックすると直接 Cisco Spaces ダッシュボードに移動します。特定の Cisco Spaces アカウントが複数の顧客名をサポートしている場合は、[Select Customer] ウィンドウが表示されます。ユーザーがドメインにログインしていない場合、ログイン認証のために IDP ページにリダイレクトされ、SSO 資格情報を指定してログインできます。

#### Hotspot OpenRoaming

OpenRoaming アプリでは、次のダッシュボードサポートが追加されています。

- [Add Hotspot for Connector] : Cisco Spaces ダッシュボードから Cisco Spaces コネクタのホットスポットを追加できるようになりました。[Setup] > [Wireless Networks] の下の [Connect via Spaces Connector] ウィジェットでは、新しいオプション [Add OpenRoaming] がステップ 2 で利用可能になり、これを使用してホットスポットを設定できます。
- [Controller Configurations] : OpenRoaming アプリを使用するためにワイヤレスコントローラで実行する設定が、Cisco Spaces ダッシュボードに表示されるようになりました。[Setup] > [Wireless Networks] の下の [Connect via Spaces Connector] ウィジェットでは、ステップ 2 で新しいオプション [OpenRoaming Controller Configuration] を使用して構成を表示できます。Cisco AireOS と Cisco Catalyst 9800 シリーズの両方に必要な設定は、個別に表示できます。

## パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

- **[Activation Count for Apps]** : パートナーダッシュボードでは、アプリごとに、そのアプリで発生したアクティベーションの総数が表示されるようになりました。アプリのアクティベーションの数を表示するには、パートナーダッシュボードで、そのアプリの **[Activation]** リンクをクリックします。
- **[Partner App Activation Flow]** : パートナーダッシュボードでは、アプリのアクティベーションフローが Cisco Spaces の場合と同様になりました。したがって、Cisco Spaces ダッシュボードと Cisco Spaces パートナーダッシュボードに表示されるアプリ アクティベーションウィザードは同じです。これにより、アプリのテスト中にパートナーにリアルタイムのアクティベーションエクスペリエンスが提供されます。

## ネットワーク同期サーバー

Cisco Spaces ネットワーク同期サーバーは、Cisco Meraki Camera の同期をサポートするように機能強化されました。Cisco Meraki に追加または削除されたカメラは、Cisco Spaces で自動的に同期されます。Cisco Meraki フロアに配置されたカメラは、Cisco Spaces のフロアに移動されません。ネットワークのロケーションにのみ保持されます。

# 機能強化 : 2019 年 12 月

## Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の変更が加えられました。

### パートナー管理ダッシュボード

Cisco Spaces パートナー管理ダッシュボードは、パートナーアプリのステータスを制御するように機能強化されています。パートナーアプリは、次のいずれかのステータスになります。

- LIVE
- APPROVED
- UNDER-REVIEW-COMING-SOON
- UNDER-REVIEW
- NEW

ステータスが LIVE、APPROVED、または UNDER-REVIEW-COMING-SOON のアプリのみが Cisco Spaces ダッシュボードに表示されます。

アプリのステータスは、Cisco Spaces パートナー管理ダッシュボードを使用して、Cisco Spaces サポートチームによって設定されます。パートナーは、各アプリに割り当てるステータスを

Cisco Spaces サポートチームに通知し、ステータスの変更が必要になったときに更新する必要があります。

## 不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

## シスコバグ検索ツール

シスコバグ検索ツール (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

## 未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
<a href="#">CSCvq83680</a>	RBAC：特定の場所にアクセスできる管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
<a href="#">CSCvq24076</a>	Right Now：ロケーション階層を変更すると、既存の関連するカウンタがクリアされない。
<a href="#">CSCvp57525</a>	ロケーション分析：滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している
<a href="#">CSCvs34747</a>	SSO：ダッシュボードアカウント選択ページにログインできない
<a href="#">CSCvs34730</a>	SSO：SSO ユーザーがパスワードをリセットしようとした場合、適切なエラーメッセージが表示されない

CDETS ID 番号	説明
CSCvs34610	SSO : SSO リリースの一環として、任意の電子メールアドレスの自動有効化が行われる
CSCvs15469	招待の再送信機能は、SSO ユーザーのライブから削除された。
CSCvs08343	SSO : いったん追加されたホットスポットは削除できないか、コネクタが削除されても削除されない。
CSCvs15189	SSO ユーザー (A 単独) : 重複した「キャプティブポータル」アプリがアプリのドロップダウンボタンに表示される。
CSCvs25540	Meraki カメラ : AP を含むカメラの詳細は、ロケーションの詳細ページに表示されない。

## 修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvs10018	現在のセッションが見つかりません。ライブダッシュボードに表示されるエラーを再度ログインしてください。
CSCvs05071	Meraki API キー : Meraki の認証後、ワイヤレスネットワークのステータスが接続済みとして表示されなかった。
CSCvr99306	エンゲージメントルール リンク テンプレートは、リンクに対して利用可能な検証がない。プレーンテキストも受け入れる。
CSCvr99286	既存のポータル名のエラーメッセージを使用してポータル名の名前を変更することは正しくない。
CSCvr93655	CMX テザリング : 1 つのフロアのみが追加され、残りはすべてクリアされ、インポートされない。
CSCvr89015	アクティベーション中に間違ったパスワードを入力すると、アクティベーションページがロードされ続ける。
CSCvr88647	すべてのロケーション : 同じ拠点の名前を変更しても、検証メッセージは表示されない。
CSCvr88600	名前変更テキストボックスに表示されている html タグを検索して名前を変更する。
CSCvs36774	Forgot : ユーザーがキャメルケースでメール ID を提供した場合、ユーザーはパスワードをリセットできない。

CDETS ID 番号	説明
<a href="#">CSCvs17068</a>	SSID : ネットワーク名がスペースで始まる場合、Meraki の SSID を削除できない。
<a href="#">CSCvr95954</a>	[captive portal] タイルをクリックすると、ポータルリストページのロード中に数秒間空白のページが表示された。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。